

2010年3月期 決算説明会

2010年5月18日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



決算の概要（連結）

1) 当期の決算概要

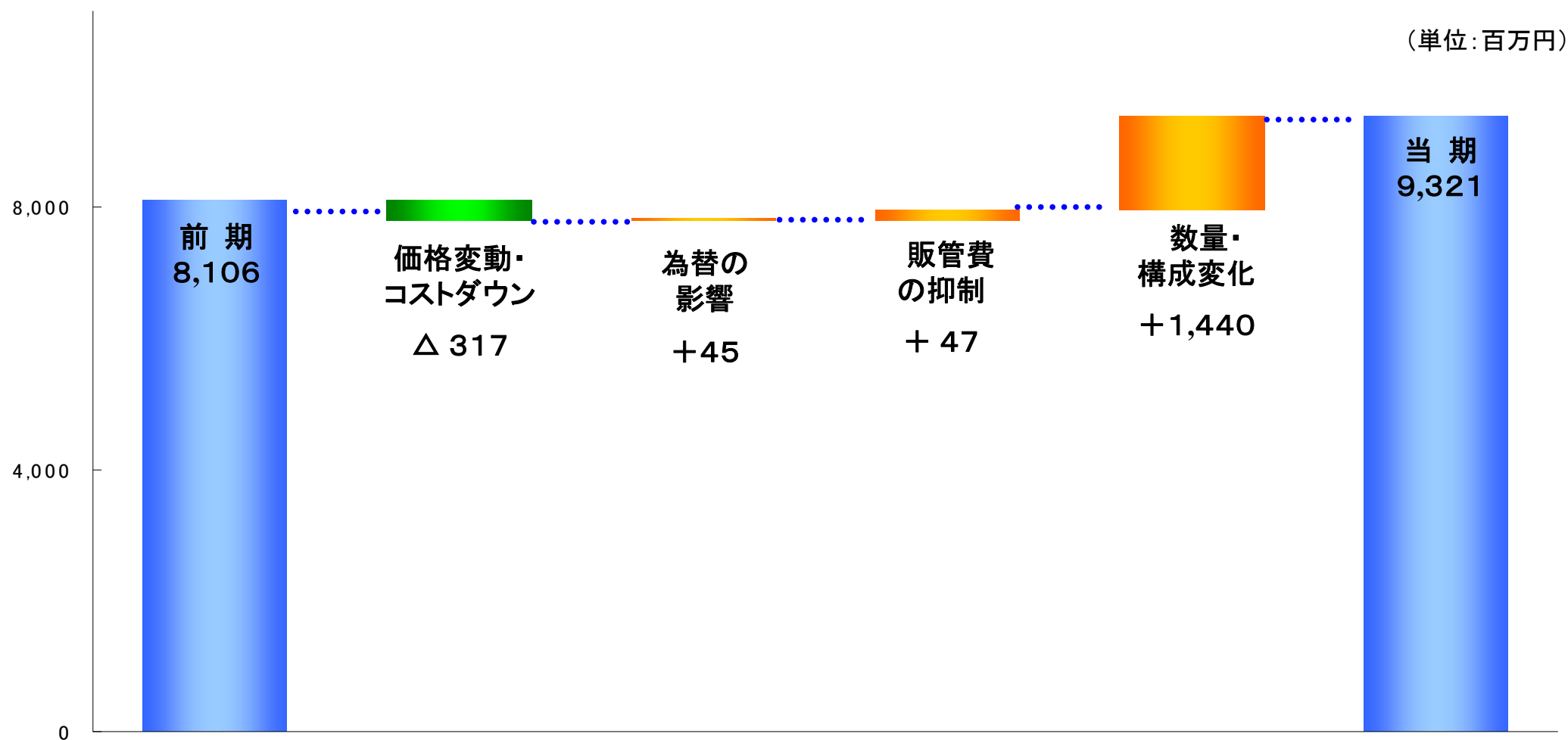
(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前期 (2009/3)	当期 (2010/3)			
		期初予想	前回予想※	実績	対前期増減率 (%)
売上高	109,123	107,000	107,000	107,013	△ 1.9
国内売上高	87,402	87,500	87,500	87,439	0.0
海外売上高	21,721	19,500	19,500	19,574	△ 9.9
営業利益	8,106	6,000	8,200	9,321	15.0
経常利益	7,640	6,000	8,200	9,343	22.3
当期純利益	4,610	3,700	5,100	5,917	28.3

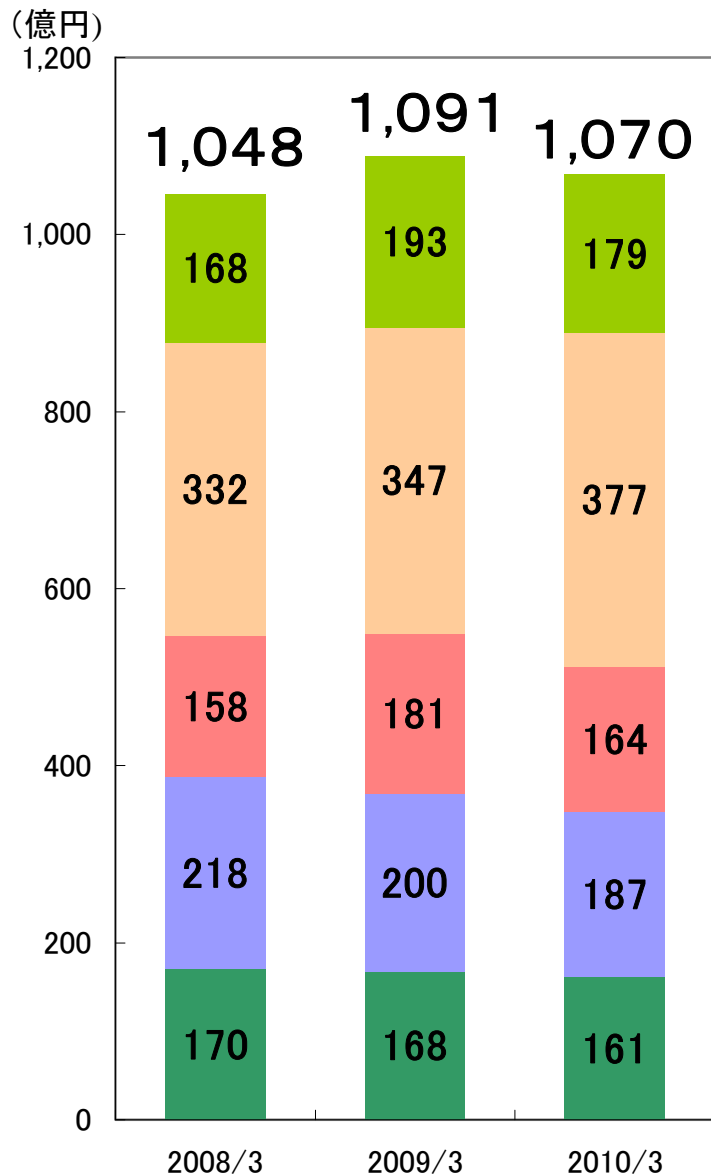
平均レート	(2009/3)	(2010/3)
1ドル	101円	93円
1ユーロ	145円	131円

※ 11/5 第2四半期決算発表時の予想数値

2) 営業利益増減の要因分析



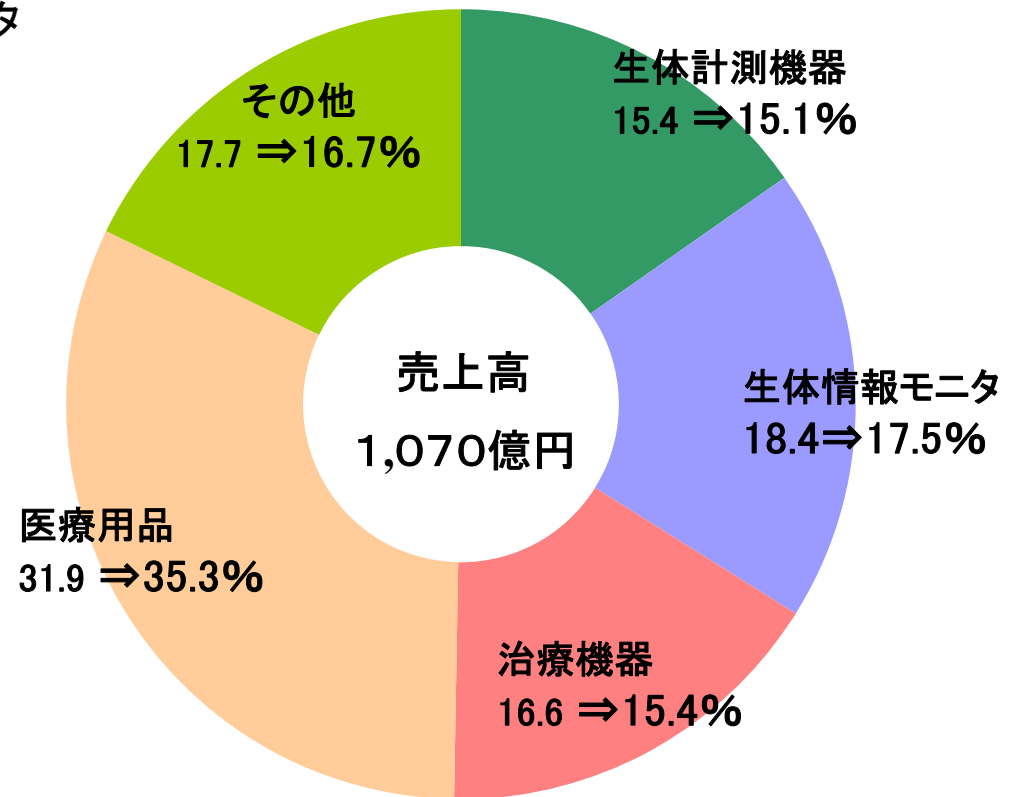
3) 商品群別売上高



- その他
- 医療用品
- 治療機器
- 生体情報モニタ
- 生体計測機器

商品群別売上構成比

(2009/3⇒2010/3)



3.1) 生体計測機器

(単位:百万円)

	前期 (2009/3)	当期 (2010/3)	増減率(%)
脳神経系群	7,193	6,762	△ 6.0
心電計群	5,842	5,630	△ 3.6
ポリグラフ群	3,774	3,728	△ 1.2
生体計測機器合計	16,811	16,122	△ 4.1
うち国内売上高	11,539	11,442	△ 0.8
うち海外売上高	5,271	4,679	△ 11.2



脳波計 EEG-1200



心電計 ECG-1400



ポリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前期 (2009/3)	当期 (2010/3)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	20,039	18,721	△ 6.6
うち国内売上高	12,291	12,020	△ 2.2
うち海外売上高	7,748	6,700	△ 13.5



WEP-5200
シリーズ



BSM-6000
シリーズ



セントラルモニタ
CNS-9601

3.3) 治療機器

(単位:百万円)

	前期 (2009/3)	当期 (2010/3)	増減率(%)
除 細 動 器	11,434	8,804	△ 23.0
ペ ー ス メ ー カ	3,356	3,460	3.1
人 工 呼 吸 器	1,809	2,189	21.0
そ の 他 治 療 器	1,506	2,035	35.1
治 療 機 器 合 計	18,106	16,490	△ 8.9
う ち 国 内 売 上 高	15,520	13,963	△ 10.0
う ち 海 外 売 上 高	2,586	2,526	△ 2.3
(参考)AED販売台数	42,600台	29,800台	△ 30.0



AED-2100



心臓ペースメーカー Kiklos DR



人工呼吸器HAMILTON-C2

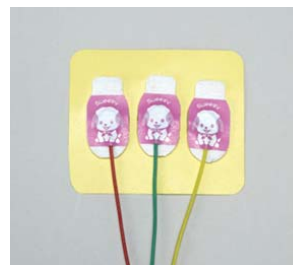
3.4) 医療用品

(単位:百万円)

	前期 (2009/3)	当期 (2010/3)	増減率(%)
消 耗 品	27,764	29,993	8.0
修 理 ・ 保 守 他	7,034	7,744	10.1
医 療 用 品 合 計	34,798	37,737	8.4
うち国内売上高	30,274	33,277	9.9
うち海外売上高	4,524	4,460	△ 1.4



フィンガープローブ TL-201T



ディスプレイ電極 N-03IS3



AED用使い捨てパッド
P-590

3.5) その他

(単位:百万円)

	前期 (2009/3)	当期 (2010/3)	増減率 (%)
検体検査装置	4,101	3,440	△ 16.1
医用システム、トランス、 画像診断装置他	15,266	14,500	△ 5.0
その他合計	19,367	17,941	△ 7.4
うち国内売上高	17,776	16,734	△ 5.9
うち海外売上高	1,591	1,206	△ 24.2



全自動血球計数器 MEK-6400

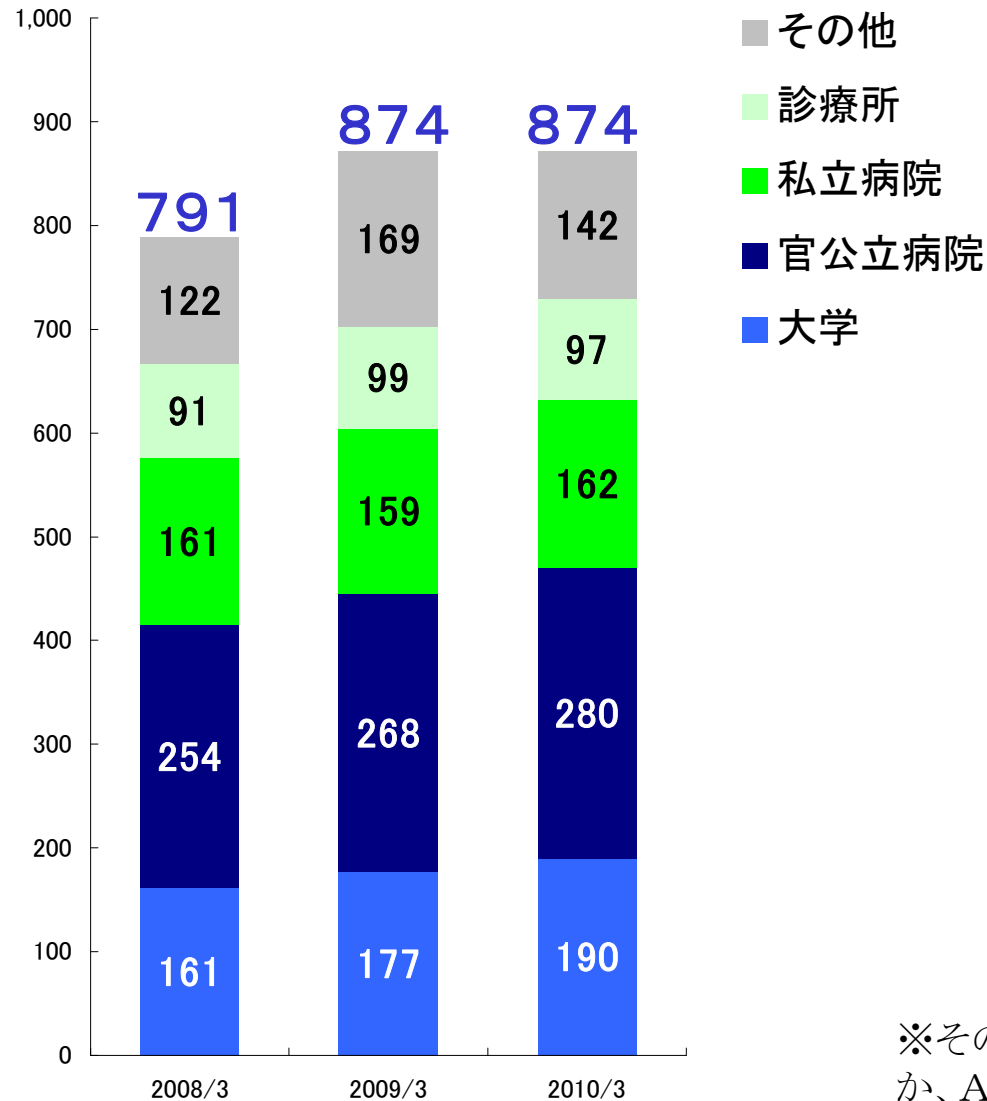


診療支援システム Prime park

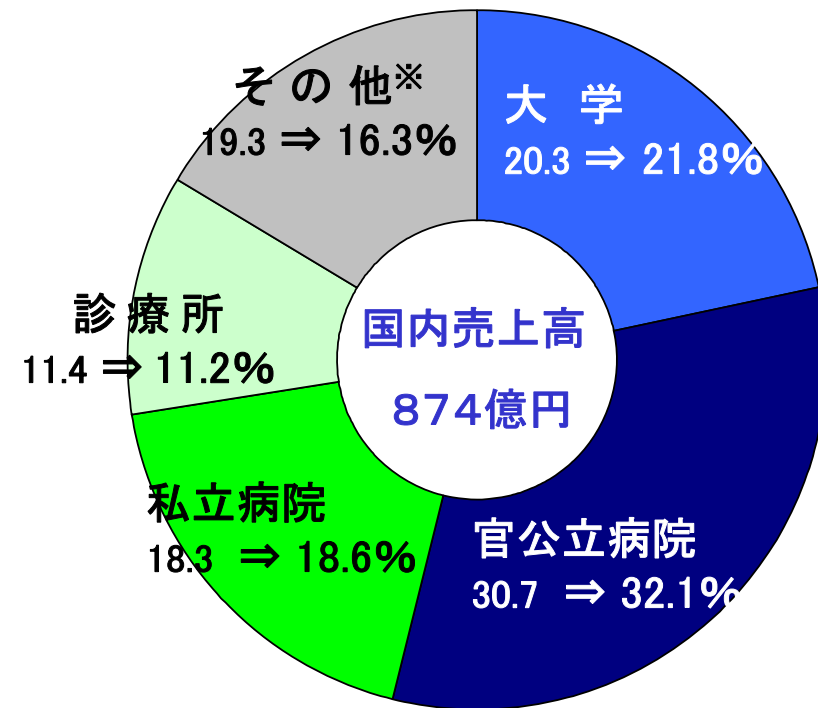
4) 国内売上高

(億円)

【市場別売上高】



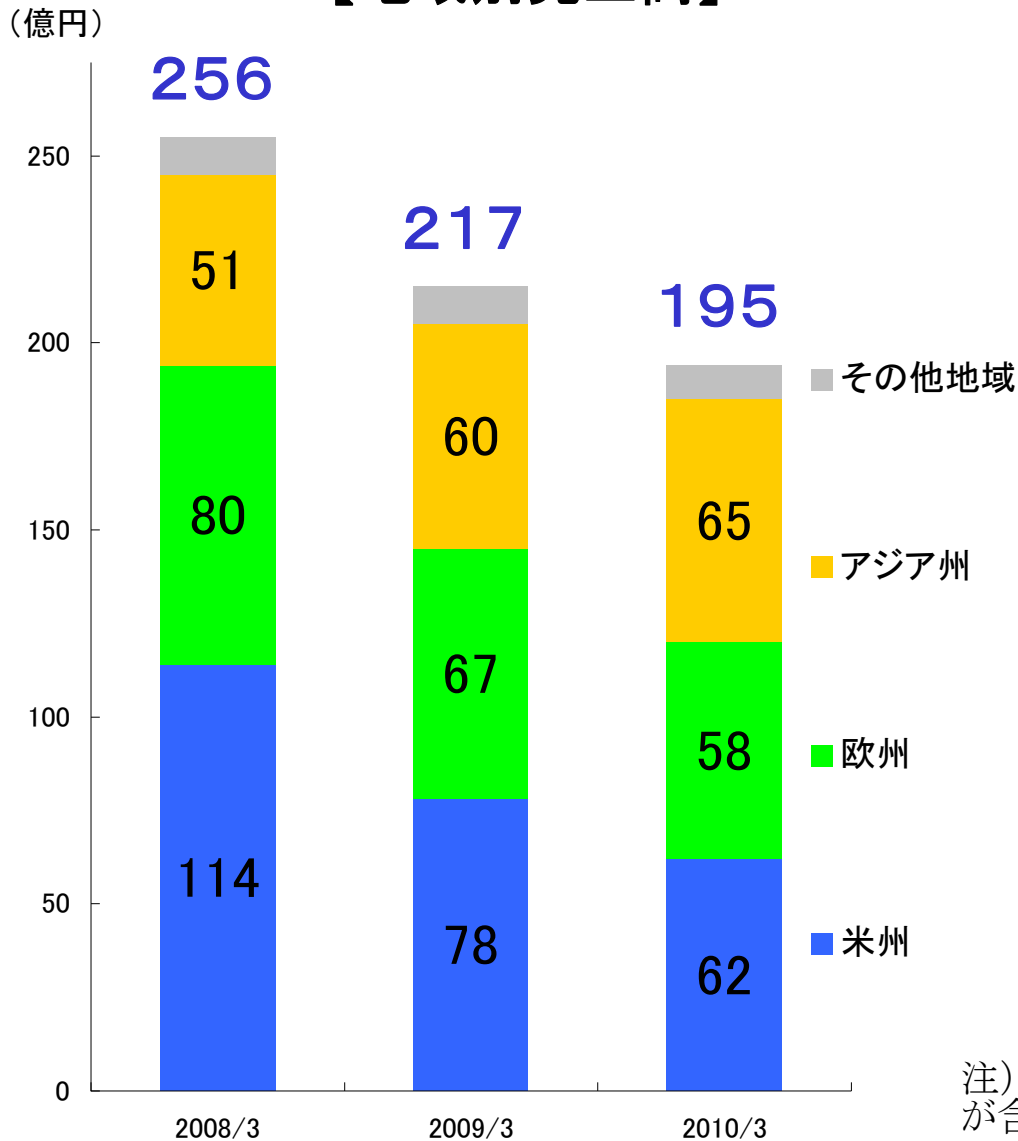
市場別売上構成比
(2009/3⇒2010/3)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

5) 海外売上高

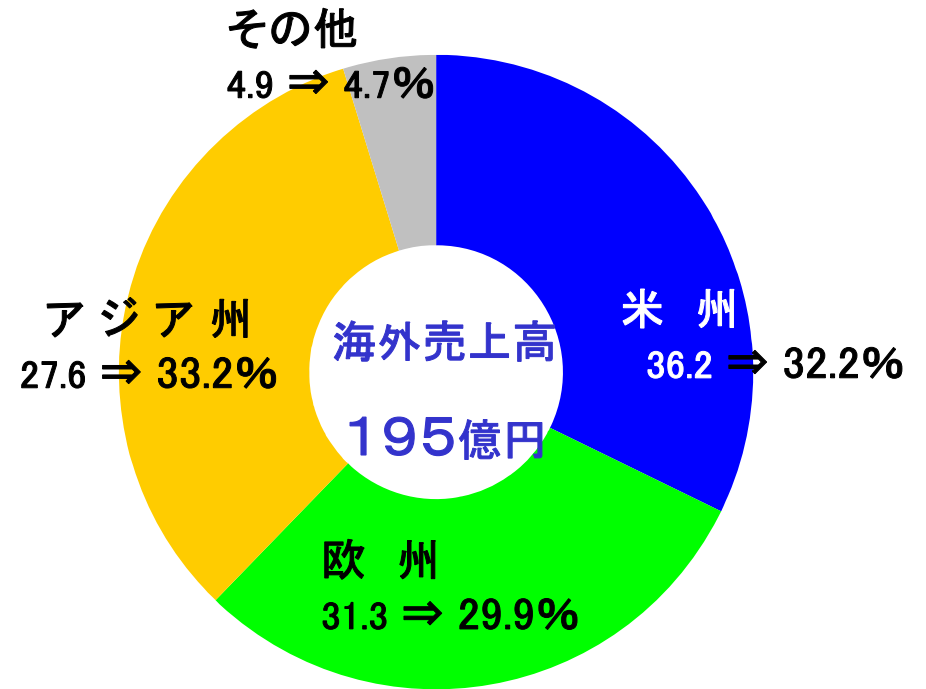
【地域別売上高】



海外売上高比率

2008/3	2009/3	2010/3
24.5%	19.9%	18.3%

地域別構成比
(2009/3⇒2010/3)



注) 2008/3期米州には約22億円の中南米での大口商談が含まれています。

6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 (2009/3)	当期末 (2010/3)	増減額
流動資産	61,470	69,685	8,214
固定資産	19,008	18,315	△ 693
資産合計	80,479	88,000	7,521
流動負債	26,277	29,722	3,444
固定負債	631	329	△ 302
負債合計	26,909	30,051	3,141
純資産	53,569	57,949	4,379
負債純資産合計	80,479	88,000	7,521

← ● ・譲渡性預金: +50億円 (B/S 75億円)

← ● ・有形固定資産: △ 9億円 (B/S 93億円)
 ・無形固定資産: +13億円 (B/S 43億円)
 ・投資その他資産: △10億円 (B/S 45億円)

← ● ・支払手形・買掛金: +21億円 (B/S 182億円)

7) キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	前期末 (2009/3)	当期末 (2010/3)	増減額
I 営業CF	4,123	10,679	6,555
II 投資CF	△ 5,968	△ 2,810	3,157
FCF	△ 1,844	7,869	9,713
III 財務CF	△ 601	△ 2,850	△ 2,248
換算差額	△ 152	114	267
増減額	△ 2,599	5,133	7,732
期末残高	11,197	16,331	5,133

	(09/3)	(10/3)	増減
税前利益	7,693	9,148	+1,454
仕入債務の増減額	△2,021	2,172	+4,193

有形固定資産の取得	△3,524	△1,186	+2,337
-----------	--------	--------	--------

短期借入金の純増減額	1,175	△1,211	△2,386
------------	-------	--------	--------

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期 (2009/3)	当期(2010/3)			増減額 (年度比較)	2011/3 計画
		期初計画	前回計画※	実績		
設備投資額	4,645	5,000	4,600	3,154	△ 1,491	2,700
減価償却費	2,726	3,100	2,700	2,507	△ 219	3,100
研究開発費	4,656	4,700	4,400	4,418	△ 238	5,200

- 設備投資の実績 新製品の「型」、計測器、販促用製品 他
ERPシステム導入(17億円)
- 設備投資の期初計画との差異
通常設備投資の抑制(△13億円)、ERP投資の見直し(△5億円)
- 次期計画
主な設備投資:新製品の「型」投資、販促用製品、ERPシステム導入(4億円)
減価償却費のうちERP分は6億円
研究開発費は増加

※ 11/5 第2四半期決算発表時の予想数値

9) 次期業績見通し

(単位:百万円)

	前期実績 (2009/3)	当期実績 (2010/3)	次期予想 (2011/3)	増減率(%)
売上高	109,123	107,013	112,000	4.7
国内売上高	87,402	87,439	90,000	2.9
海外売上高	21,721	19,574	22,000	12.4
営業利益	8,106	9,321	10,000	7.3
経常利益	7,640	9,343	10,000	7.0
当期純利益	4,610	5,917	6,300	6.5

海外売上高比率

19.9%

18.3%

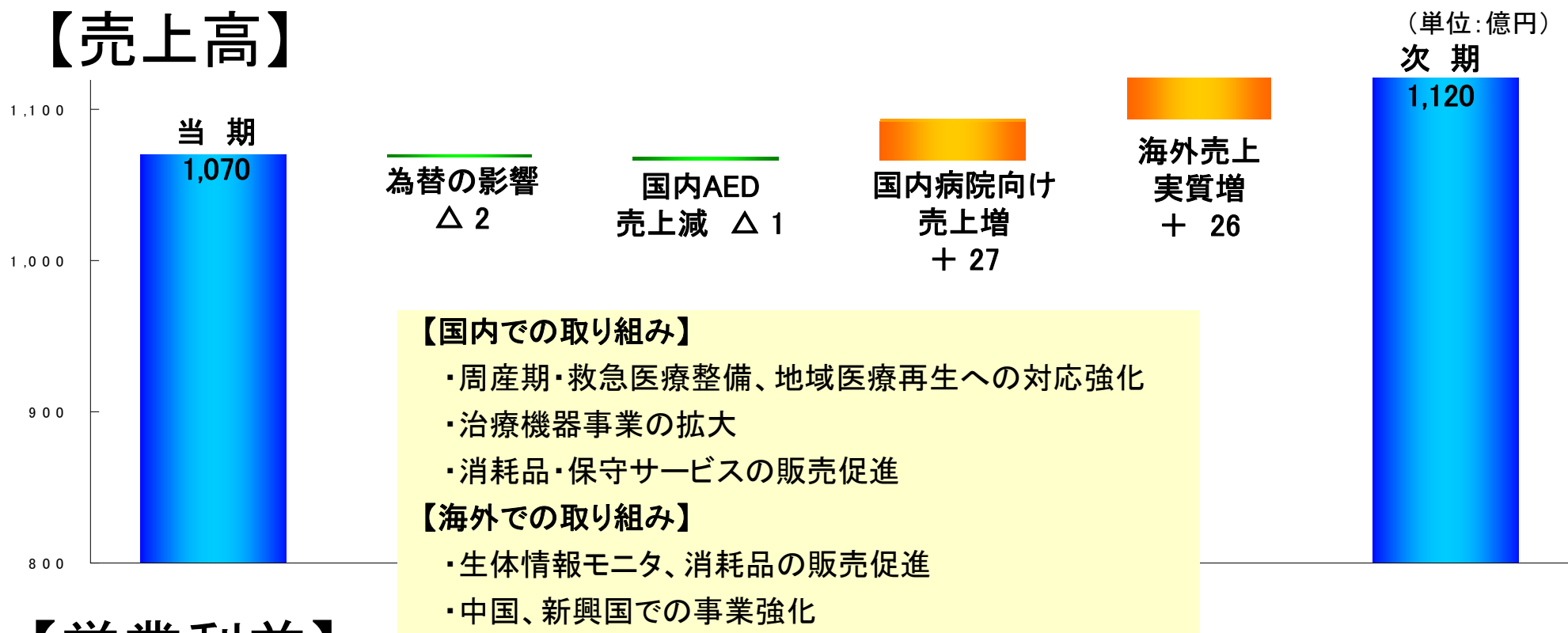
19.6%

平均レート

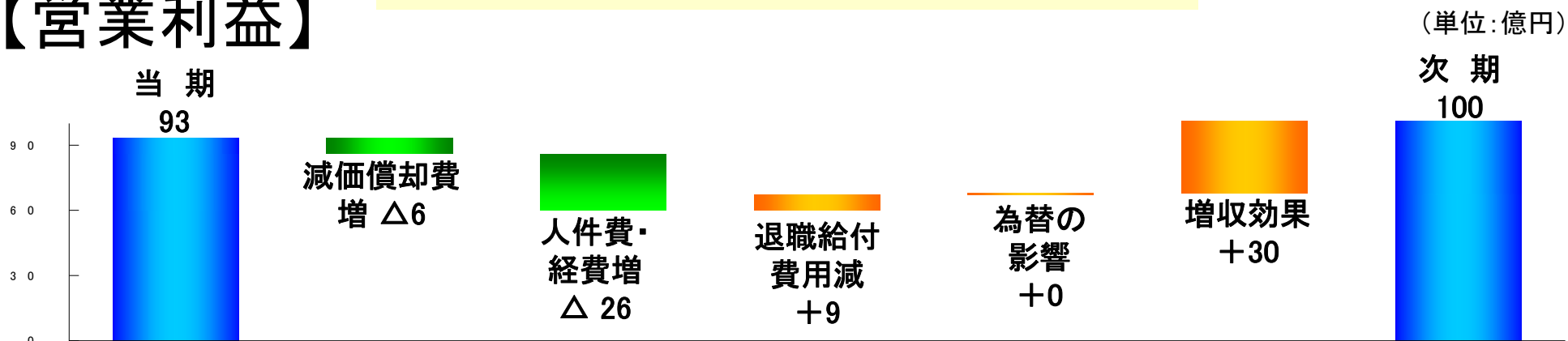
1ドル	101円	93円	90円
1ユーロ	145円	131円	130円

10) 次期業績見通しの要因分析

【売上高】



【営業利益】

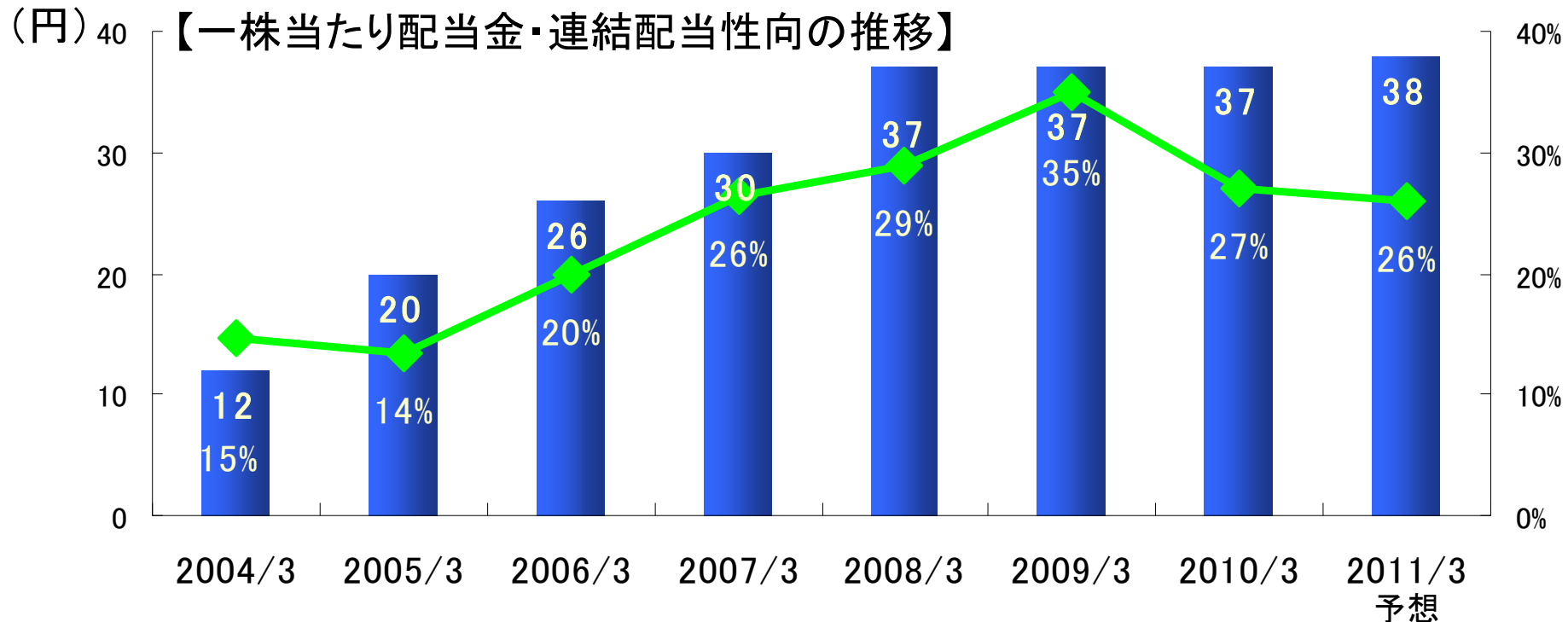


11) 株主還元策

【基本方針】

企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に配慮しながら、長期にわたって安定的な配当を継続

当面の目安：連結配当性向30%



[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	当期実績 (2010/3)	次期予想 (2011/3)	増減率(%)
生体計測機器	30,474	31,600	3.7
生体情報モニタ	32,838	34,900	6.3
治療機器	20,095	20,900	4.0
その他	23,604	24,600	4.2
売上高合計	107,013	112,000	4.7

(ご参考)

医療用品	37,737	39,500	4.5
------	--------	--------	-----

2011/3期から、従来「医療用品」に区分していた消耗品・保守サービス等を、「生体計測機器」「生体情報モニタ」「治療機器」「その他」に組み替えています。2010/3期の数値についても同様に組み替えて表示しています。

中期経営計画

(2011年3月期～2013年3月期)

1) 創立60周年を迎えるにあたって

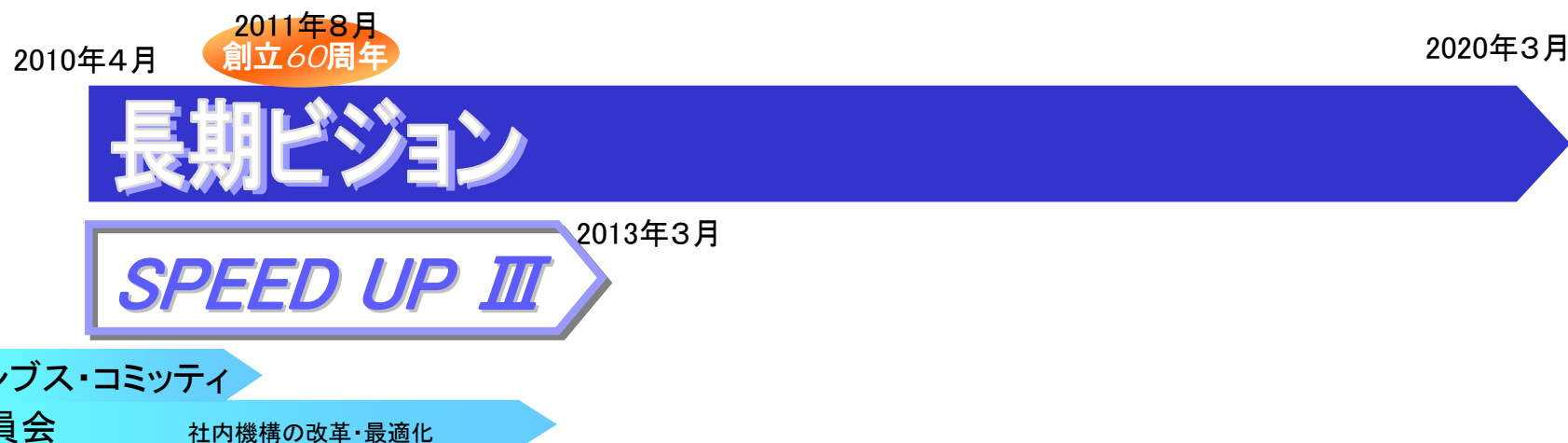
環境認識

- 先進国での高齢化
- BRICSなど新興市場の成長
- グローバルでの企業間競争の激化

日本光電は、来年8月7日に創立60周年を迎えます。

激変する環境下でさらなる成長を遂げるため、
新しい日本光電グループとして、
今後10年間でダイナミックに変革を行う所存です。

2020年に向けた **長期ビジョン** とその第一ステージである
新3カ年中期経営計画 **SPEED UP III** をご説明いたします。



2) 前中期経営計画の総括①

事業基盤の強化

- コロンブス・コミッティ、NK革新委員会の推進
- 中国に販売子会社設立
- 富岡工場の生産体制強化、中国生産工場の完全子会社化
- 日本バイオテスト研究所、ニューロトロニクスを買収

重点商品の開発・発売

- 生体情報モニタのラインアップが充実
- 自社製AEDを発売

収益体質の改善

- 2010/3期は厳しい環境下で増益を達成

2) 前中期経営計画の総括②

海外事業減速の影響が大きく、売上高/営業利益/ROE目標に届かず

(単位:億円)

	2008/3 実績	2009/3 実績	2010/3 実績	中期 経営目標	計画比
売上高	1,048	1,091	1,070	1,130	↓ 95 %
(国内売上高)	791	874	874	825	↑ 106 %
(海外売上高)	256	217	195	※305	↓ 64 %
営業利益	98	81	93	102	↓ 91 %
ROE(%)	11.3 %	8.8 %	10.6%	12.0 %	↓
在庫回転率	7.3 回	7.4 回	7.8 回	7.4 回	↑

※中期経営目標「海外売上高比率27%」を売上高で表示

※売上高÷在庫高(6・9・12・3月末平均)で表示

3) 長期ビジョン ①

2010年4月～

～2020年3月

長期ビジョン

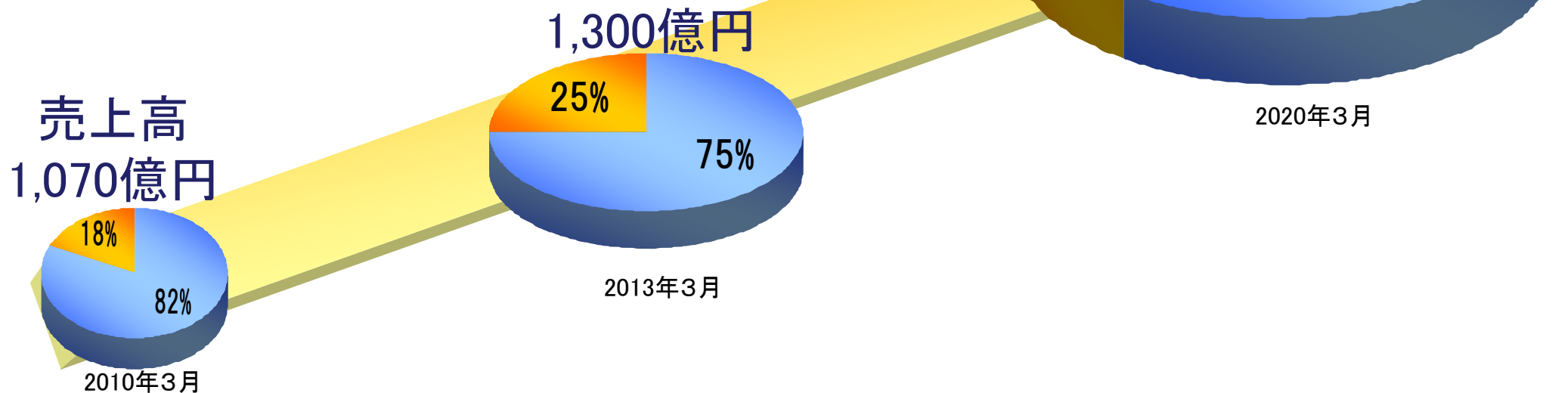
The CHANGE 2020 -The Global Leader of Medical Solutions-

- 1. 世界初の革新的技術の確立**
- 2. 世界最高品質の確立**
- 3. グローバルシェアNo.1の獲得**

3) 長期ビジョン ②

2020年3月期

売上高: 2,000億円以上
営業利益: 250億円以上
海外売上高比率: 40%以上



4) 新中期経営計画 重要課題

SPEED UP III

1. 品質向上活動の推進
2. 技術開発力の強化
3. コア事業の拡大・強化
4. グローバル化の加速
5. 新規事業の創造
6. 企業体質の強化

5) 重要課題のキーポイント

① 医療現場に密着した開発体制の構築

- 海外開発拠点の活用
- 研究開発機関/パートナー企業との連携強化

具体策

中国・欧州で現地ITベンダーと提携



②生体情報モニタリング事業ー1

各地域のニーズに合った商品・システムソリューション

日本: 救急およびNICUサイトの強化、医療安全の啓蒙推進

北米: 大規模病院市場の更なる攻略、Defensive MonitoringTM※の販売展開強化

欧州: 中位機種およびシステムソリューションの販売展開強化



グローバル市場のシェア拡大

※当社がアメリカ向けに開発したPrefenseTMによる医療事故予防のためのモニタリング

②生体情報モニタリング事業ー2

具体策

サイト別／地域別にラインアップを強化

先進国

重症病棟
手術室

ICU/CCU

NICU

救急

OR

ベッドサイドモニタ

来期以降

セントラルモニタ



下期発売予定

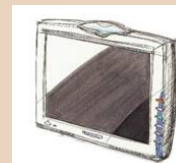
サイト別システム

国内のみ。下期から順次

新興国

High End

ベッドサイドモニタ



下期発売予定

セントラルモニタ

来期以降

対応機能領域の幅

一般病棟

Prefense™



ディスプレイ送信機



ZM-940PA

2009/6米国発売



ZS-530P

2009/11発売

バイタルサインモニタ



PVM-2701

2009/11海外発売

Low End

③治療機器事業の拡大・強化

シナジー効果のある先端治療機器の導入を推進

具体策

迷走神経刺激装置の販売開始
(2010年度上期予定)

人工呼吸器



生体情報モニタ

迷走神経刺激装置



迷走神経を断続刺激し、難治性てんかん患者の発作を低減するデバイス

脳波計

シナジー効果が期待できる自社商品

ペースメーカー
ICD



ポリグラフ

人工内耳



誘発電位検査装置

自動心臓
マッサージ装置



除細動器

治療機器専門の販売・サービス体制の強化

④中国事業の強化と新興国市場の拡大

中国：販売・サービス網の整備・拡大

中国でのグローバル市場向け普及機の開発・生産体制の構築

新興国：新興国向け商品ラインアップ拡充と販売網の強化

具体策

- 中国：血球計数器直販開始
(2010年4月)
: 試薬生産開始
(2010年度上期予定)
- BRICS販売網の整備・拡大



6) 数値目標

	2010/3 実績	2013/3 中期経営目標	3カ年 伸び率
売上高	1,070 億円	1,300 億円	21.5%
国内売上高	874 億円	975 億円	11.5%
海外売上高	195 億円	325 億円	66.0%
営業利益	93 億円	130 億円	39.5%
ROE	10.6%	12.0 %	

地域別海外売上高

米州	62 億円	94 億円	49.2%
欧州	58 億円	88 億円	50.1%
アジア州	65 億円	130 億円	99.8%
その他	9 億円	13 億円	43.2%

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 TEL03-5996-8003